

**平成25年度 第44回全国学校保健・学校医大会
開 催 要 項**

大会名称 第44回全国学校保健・学校医大会
 メインテーマ 「子供は希望。未来の力」
 日 時 平成25年11月9日(土)
 会 場 秋田キャッスルホテル 秋田市中通一丁目3-5 Tel. 018-834-1141
 秋田県民会館 秋田市千秋明德町2-52 Tel. 018-834-5055
 主 催 日本医師会
 担 当 秋田県医師会
 参 加 者 日本医師会会員及び学校保健に関係のある専門職の者
 日 程

9:00	受 付	秋田キャッスルホテル
10:00	分科会 第1分科会 『からだ・こころ(1)』 第2分科会 『からだ・こころ(2)』 第3分科会 『からだ・こころ(3)』 第4分科会 『耳鼻咽喉科』 第5分科会 『眼科』	
12:00	昼 食 都道府県医師会連絡会議	
13:00	開会式・表彰式	秋田県民会館
14:00	シンポジウム テーマ 「学校における感染対応」 基調講演 『休校・学校閉鎖の効果(仮)』 講師 秋田県医師会感染症等危機管理委員会アドバイザー 東北大学医学系研究科微生物学分野教授 押 谷 仁 シンポジウム ① 「秋田県大館市の麻しん地域流行・新型インフルエンザを振り返って」 ～麻しん流行と新型インフルエンザにおける学校閉鎖・出席停止 対応の検証～ 大館市立総合病院副診療局長、 感染制御室長、検査科部長 高 橋 義 博 ② 「感染症情報収集システム (学校欠席者情報収集システム)の全県運用に向けて」 秋田県立本荘高等学校養護教諭 (前秋田県教育庁保健体育課指導主事) 村 上 まゆみ ③ 「秋田県医学生麻しんワクチン高校プロジェクトの効果について」 秋田県医師会常任理事 小 泉 ひろみ ④ 「学校における性感染症への取り組み」 秋田赤十字病院総合周産期母子医療センター長 平 野 秀 人	
15:40	特別講演 演 題 『資源の獲得競争に負けない日本を —秋田から資源学の発信を—(仮)』 講 師 秋田大学学長 吉 村 昇	
16:40	次期担当都道府県医師会会長挨拶・閉会	
16:50	休 憩	
17:45	懇親会 アトラクション	秋田キャッスルホテル

第63回 全国学校歯科医協議会

開催要項

1. 期 日 平成25年11月7日(木) 17時00分～20時45分

2. 会 場

【協議会・シンポジウム・懇親会】

秋田ビューホテル 4階「飛翔の間」

秋田県秋田市中通2-6-1 TEL:018-832-1111

3. 日 程

16:30	17:00	17:30	19:00	20:45
受付	開会式 大臣表彰者紹介	シンポジウム		懇親会

4. シンポジウム

【テーマ】 「学校での歯科健康診断における歯列咬合・顎関節診査と事後措置を考える」

趣 旨： 学校での歯科健康診断に「歯列・咬合、顎関節」の診査項目が導入されてから、十数年の月日が過ぎた。心身の健康の基盤でもある適切な食習慣・食行動を築き、QOLの向上を図るためには、口腔機能の発達支援と同時に顎口腔系の形態的な発育支援が不可欠である。近年の社会環境の変化に伴い、子どもの日常生活習慣や健康意識にも変化がみられ、同時に歯・口腔の健康も歯列・咬合や口腔機能の課題が顕在化してきている。このような背景のもと、学校歯科保健の目標も従来の疾病志向から健康志向へと変化し、健康診断後の事後措置としても教育的位置づけが重視され、健康相談や保健指導に重点が置かれるようになった。

本シンポジウムは、学校歯科医、養護教諭、学級担任等学校関係者の共通認識のもとで進める保健指導などに視点を置き、学校での「歯列・咬合、顎関節」の診査やその事後措置についてあらためて考えていきたい。

座 長： ・一般社団法人秋田県歯科医師会 藤原元幸

シ ン ポ ジ ム イ ス ト： ・学校歯科医 高知県高知市立西部中学校 学校歯科医 野村圭介

・学校現場 東京都中央区立泰明小学校 養護教諭 上野弘子

・学 識 日本大学 名誉教授 赤坂守人

【主催】 秋田県歯科医師会

【共催】 日本学校歯科医会

【後援】 秋田県教育委員会・秋田県学校保健連合会・秋田市教育委員会

第 63 回全国学校薬剤師大会開催要項

1. 趣 旨

健康とは、単に疾病がないということではなく、身体的、精神的にも、そして社会的にも健全な状態にあることを言います。IT化された社会に生まれた子供たちの生活環境は、日々目まぐるしい変化を遂げており、人と人との絆を構築する間もなく、豊かな人間性を育てることが難しくなっています。平成21年に改正された「学校保健安全法」の趣旨から、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図り、教育活動が安全な環境において実施されるよう、その具体的な取り組み方が問われ続けています。学校環境衛生の維持だけではなく、給食による食物アレルギー問題、薬物乱用防止活動は早急に対応を図るべき課題です。また、児童生徒のセルフメディケーションを育て、健康な生活を維持する能力を備えていただく必要性があります。既に昨年度からは、中学校において『医薬品の適正使用』が保健体育の授業に盛り込まれました。本年度からは高等学校において医薬品教育が始まります。薬剤師は、測定したデータを根拠とし、また、様々な健康関連と医薬品情報を駆使して、助言活動を行ない、学校と強く結びついて児童生徒と職員の健全な教育環境を維持していかなければなりません。

本大会において、着実に進展しつつある少子超高齢化社会を背景に置いて、教育と学校薬剤師の在り方を見つめ直す機会とし、時代に要請される学校薬剤師像を探ることを目的といたします。

2. 主 題

生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進
～ 生命（いのち）をはぐくむ学校薬剤師 ～

3. 主 催

公益社団法人 日本薬剤師会 一般社団法人 秋田県薬剤師会

4. 後 援

文部科学省 秋田県教育委員会 秋田市教育委員会
公益社団法人日本学校保健会 秋田県学校保健連合会

5. 日 時

平成 25 年 11 月 7 日 (木) 16:30～20:30

6. 日 程

16:00	16:30	17:30	18:30	18:40	19:00	20:30
受 付	開会式	表彰式	特 別 講 演	閉会式	休憩	懇 親 会

7. 特別講演

演 題 「解体新書と秋田蘭画」

講 師 秋田県立近代美術館 学芸主事 山本 文志 氏

8. 会場

秋田ビューホテル

〒010-0001 秋田市中通 2-6-1 TEL 018-832-1111

大会会場 4階光琳の間

懇親会会場 4階飛翔の間

9. 大会参加費

1名 8,000円 (懇親会費を含む)

10. 参加申込み

全国の学校薬剤師

※「第63回全国学校薬剤師大会」及び「第63回全国学校保健研究大会」に参加される場合は、いずれにもお申込み下さい。

11. 大会参加費の振込先

(8月上旬頃に、再度御案内申し上げます。)

12. 締 切 り

参加申込み・振込みともに平成25年9月20日(金)

13. 宿泊について

「第63回全国学校薬剤師大会」宿泊申込書によりお申し込み下さい。

14. 問い合わせ先

第63回全国学校薬剤師大会に関すること

第63回全国学校薬剤師大会実行委員会 事務局 担当：浦山・小丹

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6

TEL 018-833-2334 FAX 018-835-2576